

真備から世界に羽ばたく“守屋 剛志”率いる

Quartet Berlin-Tokyo

クアルテット ベルリン・トウキョウ コンサート

ベルリンを拠点とし、札幌・六花亭ふきのとうホール、ベルリン十字教会レジデンスとして活躍。



2019 10/22 火・祝 14:00開演
〔13:30開場〕

会場 玉島市民交流センター湊ホール

倉敷市玉島阿賀崎1-10-1 ☎086-526-1400(玉島文化センターバス停徒歩5分)

※駐車場に限りがありますので公共交通機関のご利用、乗りあわせをお願いします。
※未就学児の方は親子室をご利用ください(要予約、チケット必要)

入場料 一般(前売) 2,500円
大学生以下(前売) 1,000円
(当日は各500円増)

全席自由

演奏
曲目

●バルトーク／弦楽四重奏曲 第2番 作品17 Sz67 ●ヴォルフ／イタリア風セレナーデト長調
●シューベルト／弦楽四重奏曲 第12番《四重奏断章》ハ短調 D.703 ●ベートーヴェン／弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 作品131
(演奏曲目は変更する場合があります。予めご了承ください。)

主催・お問い合わせ・チケット販売／玉島市民交流センター TEL.086-526-1400

倉敷市玉島阿賀崎1-10-1

〔チケットの取り置きは住所・氏名・電話番号・チケット区分・枚数を記入してFaxにて受付します。Fax086-526-1407〕

チケット販売／アルスくらしきチケットセンター ☎086-434-0010 インディスク(天満屋倉敷店4階) ☎086-422-1457
岡山シンフォニーホールチケットセンター ☎086-234-2010 ぎんざや ☎086-222-3244

後援／倉敷市・山陽新聞社・FMくらしき・玉島テレビ放送・倉敷音楽協会・玉島文化協会・玉島商工会議所
玉島信用金庫・玉島おかみさん会



松本 瑠衣子(チェロ)

Dimitri Pavlov
(ディミトリ・パヴロフ)
(ヴァイオリン)Gregor Hrabar
(グレゴール・フラーパー)
(ヴィオラ)

守屋 剛志(ヴァイオリン)

守屋 剛志

岡山出身。東京藝大附属高、同大学、同大院修了。ベルリン音大ハンスアイスラー卒業。ロームミュージックファンデーション奨学生。ヴァイオリンを小山洋治、田淵洋子、梶山久美、浦川直也、G・プーレ、S・ピカールの各氏に、室内楽を岡山潔、山崎伸子の各氏に師事。マルシュナー国際コンクール(ドイツ)第2位、シュポーア国際コンクール(ドイツ)にてパッハ賞、日本音楽コンクール第2位及び岩谷賞(聴衆賞)、黒柳賞受賞。青山音楽賞新人賞、京都芸術祭・京都市長賞、岡山芸術文化賞グランプリ、福武文化奨励賞、エネルギー音楽賞、マルセン音楽賞受賞。ソリストとして仙台フィル、東京ニューシティフィル、群馬響、京都フィル、岡山フィル、芸大フィル、新ベルリン響等と共演。日本ヴァイオリンより名器特別貸与者としてC・トノーニ(1725)を貸与。

Dimitri Pavlov(ディミトリ・パヴロフ)

ロシア出身。イスラエルに移住し、ロイト芸術中学、ウィゾ芸高にてヴァイオリンと数多くの室内楽を学ぶ。卒業後、H・シャハム氏に師事。エルサレム音楽センターにてピアノトリオを結成し、多数ラジオ放送される。メータ音楽学校にて、I・スヴェトロヴァ氏に師事し、ガートラー四重奏団の一員として多数のコンサートに出演。その後、ベルリン芸大にてU・M・ハイベルク氏に、室内楽をアルテミスQに師事。また、M・フリード、I・グロニッチ、I・コアベルク、E・ヴルフソン、V・グルズマン、S・ミンツ、Z・ブロン各氏のマスタークラスを受講。D・パレンボイム氏芸術監督のウェスト=イースタン・ディヴァン管やイスラエル・フィルハーモニー管に招待され出演。

Quartet Berlin-Tokyo

(クアルテット ベルリン・トウキョウ)

2011年、武生国際音楽祭出演を機に結成。

オランダ国際コンクールにて優勝と聴衆賞受賞をはじめ、ARDミュンヘン国際コンクール、ボルドー国際コンクール、フランク・シューベルトと現代音楽国際コンクール、カール・ニールセン国際コンクール、Irene Steels-Wilsing Stiftungコンクール、ヨゼフ・ヨアヒム国際コンクール、サリエリ・ツィネッティ国際コンクール等にて受賞。青山バロックザール賞、エクサンプロヴァンス音楽祭よりHSBC賞2015を受賞。

これまでにヨーロッパ各地(ベルリンフィル、コンセルトヘボウ、トーンハレ、NDR、リールオペラ座、イエスキリスト教会、在独日本大使館、ベルリン日独センター等)での演奏の他、RBB、SWR、NDR、SRF、NHK等のラジオでも放送される。幅広いレパートリーを持ち、各地の音楽祭(ハイデルヘルクの春、エクサンプロヴァンス、オスロ、ホルツハウゼン城、ゴスラー、ラインヘッセン、ダヴォス、ヒツァカー等)に頻繁に出演の他、ラ・フォル・ジュルネTOKYO2019にも出演。

ハノーファー音大でオリヴァー・ヴィレ氏(クスQ)に師事し、修士号を取得。またE・フェルツ、A・ケラー、D・ワイラー・スタイン、G・シュルツ、R・シュミット、H・ミュラー、アルテミスQ、D・アルバーマン、アルディッティQの各氏の教えも受ける。

数年に渡り松尾学術財団より助成。現在ベルリンを拠点とし、札幌・六花亭ふきのとうホールとベルリン十字教会のレジデンスとしても活動中。

松本 瑠衣子

札幌出身。桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋女子高音楽科、同大学ソリストディプロマを経て、ベルリンハンスアイスラー音大と同大学院にてディプロムとマスターを取得し首席で卒業。チェロを上原与四郎、毛利伯郎、C・ボホルケス、D・ゲリンガスの各氏、室内楽を加藤知子、原田幸一郎、E・フェルツ、アルテミスQの各氏に師事。札幌ジュニアチェロコンクール、日本クラシック音楽コンクール、JILA音楽コンクール、全日本ピバホールチェロコンクール等にて多数入賞。旭川ウィーン国際弦楽セミナー優秀賞、いしかわミュージックアカデミーIMA音楽賞を受賞。ソリストとして国内外のオーケストラと多数共演し、室内楽シリーズにも多数出演。平成25年度文化庁新進芸術家海外研修奨学生。

Gregor Hrabar(グレゴール・フラーパー)

スロベニア出身。これまでにケルンテン州立音楽院、リュブリャナ音楽アカデミーを経て、ベルリンハンスアイスラー音大にて、E・フェルツ、T・フォグラウの各氏に師事。

フリアント四重奏団の創立メンバーとして、2011年-2017年在籍。ステレンボッシュ室内楽音楽祭のレジデンスを筆頭に、ニューヨーク・リンカーンセンター等、アメリカ、ヨーロッパ、南アフリカ、中国にて多数の音楽祭に参加し、CD録音の他、多数の演奏がテレビやラジオにて放送される。リュブリャナ音楽アカデミーコンクールにてFrancePrešeren賞を受賞の他、ベルガメンシコフ室内楽コンクール、Irene Steels-Wilsing Stiftungコンクール等にて多数入賞。ユーディ・メニューイン財団クラーゲンフルトと、同ベルリンより助成を受ける。